



地域医療と総合医: 12班 (医学セミナーの試み 2014)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島医学会 公開日: 2019-09-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 根本, 幸一, 乗田, 敏司, 萩田, 健三郎, 橋本, 宏彬, 旗野, 将貴, 花田, 朋子, 原, 理紗子, 平岡, 美菜 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2002132

地域医療と総合医

12 班

根本 幸一, 乗田 敏司, 萩田健三郎

橋本 宏彬, 旗野 将貴, 花田 朋子

原理 紗子, 平岡 美菜

(福島県立医科大学医学部一年)

1. はじめに

近年, メディアで「地域医療」という言葉が頻繁に取り上げられ, それに対する社会的関心も高まっている。その中で地域医療の意味が明確に示されていることが少なく, その問題点も確かではない。また同じく話題性の高い「総合医」が, どのようなものなのか, 解決策としてどの程度有効なのかも認識の曖昧さが否めない。その中でこの先, 高齢化社会が問題視される中で社会的関心はますます高くなっていくことが予想される。今後医師になる身として, 「地域医療」や「総合医」といった言葉を正しく理解し, そのうえで地域医療がどのような問題に直面しているのか, 総合医がその打開策となるのか, ということについて調べることで, 正しい知識を身に付けられ, 今後の医学部生活の手助けになるのではと考え, このようなテーマを設定した。

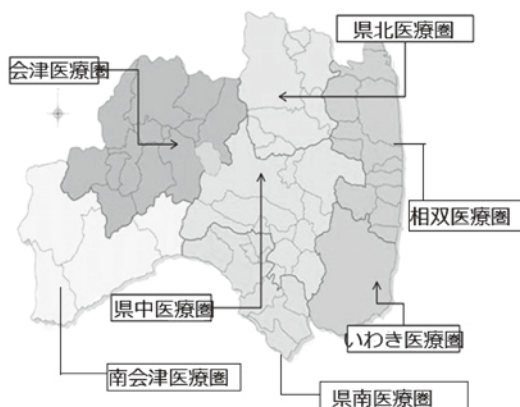
2. 調査方法

地域医療を“各県で行われている医療”と仮定し, 主に書籍やインターネットを用いて班員の出身地である県の医師の偏在と総合医とはどのようなものなのか, ということについて調べ, 各県の現状に対して総合医が解決策としてどの程度有効かを考えた。

3. 調査結果

まず, 班員の出身地である, 福島, 茨城, 千葉, 東京, 静岡, の各県の地域医療の現状について調べた。

3.1 福島県について

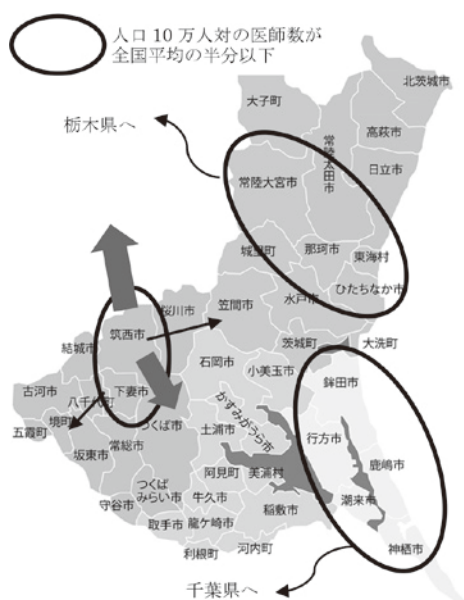


福島県では, 地域によって医師の充足度に違いがある。

県北では, 人口 10 万人当たりの医師数が全国平均を上回っており, また, 県北・いわき医療圏においては人口 10 万人当たりの施設数(診療所, 病院)が全国平均を上回っているのに対して, 県中, 県南, 会津, 南会津圏, 相双医療圏では小児科系診療所, 産婦人科系診療所等, 施設や人員が全国水準に満たない項目が見受けられる。

3.2 茨城県について

茨城県における人口 10 万人当たりの医師数は 175.7 人であり, 全国第 46 位となっていて, ま

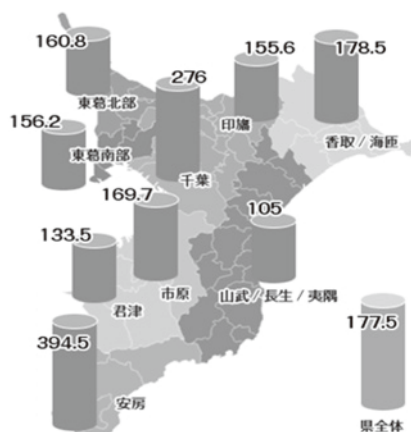


た、可住地面積が広く、医師の総数が少ないため医療資源が分散しており、一般診療所は人口10万人対では57.2施設で全国第46位となっている。救急患者を受け入れる医療機関においても、医師の不足や高齢化、地域的偏在などから、救急受入体制の弱体化がみられる。

地域的な偏在について述べていくと、鹿行医療圏（南部）には救命救急センターや小児二次救急に対応できる病院がないことや、筑西・下妻保健医療圏は急性期医療を担える病院が極端に少ないことがあげられる。

3.3 千葉県について

千葉県において人口10万人に対する医師数は177.5人でであり全国で45位であり低い水準となっている。



次に地域間での偏在ですが、医師数は県庁所在地である千葉が最も多く、外房の山武、長生、夷隅が著しく少なくなっている。

3.4 東京都について

東京都については主に島嶼部の地域医療について述べる。島嶼部での医師数、施設数は以下の表のとおりである。

町村名	島しょ名	東京からの およその距離	人口	医療機関名	開設	医師数	病床数
大島町	大島	109	8763	大島医療センター	公民	7	19
八丈町	八丈島	287	8335	徳重医院	民間	1	0
小笠原村	父島 母島	1000	2486	村立小笠原村診療所	村立	2	4
奥多摩町	山間		6306	奥多摩町国保奥多摩病院	国保	4	49
利島村	利島	134	297	利島村国保診療所	国保	1	0

3.5 静岡県について

静岡県は平成26年現在で、人口10万人当たりの医師数が180人と、全国平均の224.5人を大きく下回っています。ただ、地区ごとの医師数を見ていくと、すべての地区で医師が不足しているというわけではなく、赤丸でしめしている地域の不足が深刻で、東京に近い地域と比べてみると、格差が2倍近くあります。やはり交通が便利である、医療資源が東西を貫通する鉄道、幹線交通道路沿いの地域に、医療資源が集中する傾向があります。

1. 将来の医療を担う学生の確保
 2. 病院設備の拡充
 3. 看護職員等の医療従事者の質の向上
- の三つです。

3.6 総合医について

次に、総合医とは、臓器別に疾患を見るのではなく、日常生活で頻繁に起こりうる病気に対する知識を幅広く持ち、患者さんに対して体のみならず心の面でもアプローチしながら治療をすることができ、どんな患者さんであったとしても適切な初期治療をして、治療の次の段階へとつないでいくことができる医師であり、治療のみならず、地域住民の病気を未然に予防したり健康管理をしたりすることで、より健康に生活できるようにすることができる医師である、と調べて思った。

4. 考 察

では、これまで述べてきた各県の現状に対して、総合医が有効な解決策になる、と私たちが考える理由について述べていきたいと思う。

これまで調べてきたように、医師数、診療科など様々な偏在があり、また詳しくは触れていませんが、明らかに少子高齢化が加速している日本に

において、地域医療で必要とされているのは、広く一般に起こる病気について非特異的に診療することができて、慢性的な疾患や心理的な問題については、継続した治療を行うことができる医師である。これは、臓器別に高度な治療を行っている専門医には難しいことであると思う。私たちは決して専門医をけなしているわけではないが、地域医療においては専門医だけでは解決できない問題がたくさんあることは事実だと思う。であるから患者さんが最初に総合医に病気や怪我を見てもらうことで、必要であればそののち専門医に引き継いだり、経過を見たりしてスムーズに治療を進めたり、治療を継続したりしていくことができるのではないかと思う。

5. ま と め

日本はこれから少子高齢化がますます加速していくということはほとんど避けられないことである。それに伴って、今回私たちが調べたような地域医療の問題はますます深刻になっていくと思う。そのような中、総合医、という新たな仕組みを用いていくことで、これまでの地域医療のあり方を変えていくことが必要とされているのではないかと私たちは考えた。これまでは、地域は健康な人が暮らすところ、病気や怪我をしたら病院にいった治療してもらう、という考え方で地域医療について考えていたと思うが、これからは、医療がより住民に密着することで、地域から病気や怪我を排除して健康な人のみが暮らす場、とするのではなく、地域において病気や怪我などと共存しながら、地域住民がよりよい暮らしができるように医師がサポートしていくことが必要なのではないかと思った。

6. 参 考 文 献

「地域医療は再生する－病院総合医の可能性とその教育・研修」

発行：2010年6月15日 第1版第1刷

編者：松村理司

発行者：株式会社 医学書院

「Family Practice Seminar 2

家庭医 プライマリ・ケア医 入門

地域で求められる医師をめざして」

発行：2001年2月25日 初版第1刷

編集者：家庭医療学研究会

発行者：鎌田昌彦

発行所：株式会社プリメド社

「千葉県地域医療支援センター」

<http://www.chiba-cmsc.org/index.html>

「東京福祉保健局」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/josei/>

「静岡県地域医療再生計画」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryou/saiseikikin/dl/85.pdf>

「茨城県地域支援センター」

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/isei/ishikakuho/top/>

生かそう！各地方の病気予防

13 班

福田 浩史, 藤井 大岳, 藤倉 佑光
藤澤 薫, 藤澤 奏恵, 藤田 英憲
藤田美美子, 古谷 有紀

(福島県立医科大学医学部一年)

1. は じ め に

近年医学は、無理やりにでも延命治療を施し生き長らえさせるという方向から患者のQOLを高めようとする方向へと転換してきている。また、そんな中人々の健康寿命を延ばすことで、QOLを追求しようという考えも最近ではメジャーになりつつある。それを実現するため行政は独自の取り組みも行っており、それらを福島の病気予防に生かせないかと考え、模索することにした。

2. 調 査 方 法

班のメンバーの出身都道府県の内訳が福島県3人、秋田県2人、新潟県1人、茨城県1人、京都府1人であったため、夏休みの帰省の機会を生かして、帰省先で各自施設に訪問したり問い合わせを行ったりして調査した。

3. 調 査 結 果

3.1 福島県内の病気予防の取組

I いわき市健康ウォーキングマップ

いわき市健康ウォーキングマップとは、市内のウォーキングに適したコースの案内や概要を盛り